



## 社会貢献活動にも頑張る商店街

板橋区商店街連合会会長 原 田 曠 暉

新年あけましておめでとうございます。

板橋区商店街連合会の皆様には、新しい年を健やかに迎えのことに心よりお慶び申し上げます。

平成29年の年頭にあたり、会員の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。私ども商業者は日々の商業活動を通じて、地域の活性化、地域文化の発展に努めているところではありますが、各商店街も商連4大まつりのほか、四季折々に独自のアイデアを凝らし、それぞれ地域に密着したイベントを実施してまいりました。

そんな中、昨年は上板橋南口銀座商店街が、地域での助け合い活動の拠点としてまた、ひとり暮らし老人等の第3の居場所ともなる「さーど・ぶれいす@まもりん坊ハウス」をオープンしたほか、11月には中板橋商店街が空き店舗を活用して、富山県魚津市の直産食堂「うおづや」を開店するとともに、「コミュニティセンター機能を合せ持つ高齢者のデイサービス施設「なかいだ倶楽部」を開設しました。

一方、区商連女性部は「元気で明るいいたばし」と題してダンスの集いを開催し、引きこもりがちな中高年の男性に次回の開催を熱望されるなど、大変ご好評をいただいております。

このように商店街は、商業活動のみならず地域の活性化に取り組みとともに、社会貢献活動にも積極的に務めています。

さて、景気の動向は相変わらずで、我々零細商業者には景気回復が実感ができず厳しい経営状況にあるのが実態であります。そこで、昨年の参議院選挙後の政府の経済対策に期待しておりましたが、プレミアム付き商品券の発行は先送りとなってしまいました。東京都商店街連合会もプレミアム商品券こそ消費喚起対策の最たるものとして、29年度の予算要望書を政府自民党に提出しておりますが、新年度における政府の英断を強く期待するものであります。

今年も板橋区商店街連合会は、会員の皆様のご協力とご支援をいただきながら「東京で一番住みたくなるまち」の実現の一翼を担い、より活力ある元気な商店街を目指し努めてまいります。

結びとなりますが、会員の皆様とご家族ご一同様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。